

日々の生活・学習習慣を大切に

～令和8年度 全国学力・学習状況調査結果より～

令和8年度全国学力・学習状況調査が4月に実施され、市内公立**小学校の6年生と中学校3年生**が調査に参加しました。学習状況調査の結果を参考に、子どもの成長を支える学習習慣と生活習慣について一緒に考えていきましょう。

学習状況調査結果

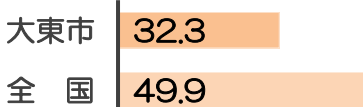
「はい」の割合（単位％）

小学校

- 毎日、朝食を食べている

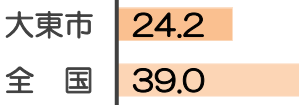


- 平日、学校以外で1時間以上勉強する



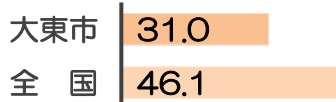
※ 全くしない 大東市：13.7% 全国：5.7%

- 学校が休みの日、1時間以上勉強する

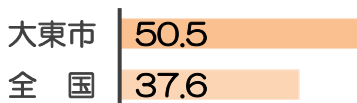


※ 全くしない 大東市：30.6% 全国：16.0%

- 平日、授業以外で10分以上読書する

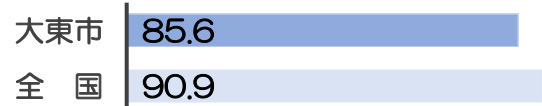


- 平日、スマホ等でSNSや動画視聴を3時間以上する

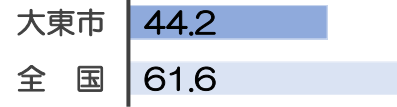


中学校

- 毎日、朝食を食べている

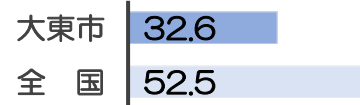


- 平日、学校以外で1時間以上勉強する



※ 全くしない 大東市：17.0% 全国：6.9%

- 学校が休みの日、1時間以上勉強する

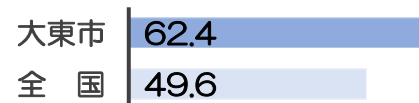


※ 全くしない 大東市：23.9% 全国：13.4%

- 平日、授業以外で10分以上読書する



- 平日、スマホ等でSNSや動画視聴を3時間以上する



朝ごはんを、しっかり食べることで、心と体がめざめ、学習への集中力も高まります。毎日、朝ごはんを食べる習慣がある子どもは、学力が高い傾向にあることが示されています。



ご家庭での学習習慣や日々の読書習慣は、学びを定着させ、考える力や表現する力を育みます。

スマートフォンについては、長時間の使用は学習意欲の低下につながるものが、過去のデータで示されています。



これらの改善には、ご家庭との連携が不可欠です。
学校とご家庭、ともに同じ方向を向いて、子どもを育てていきましょう。

お問い合わせ先：大東市教育委員会事務局 教育研究所 TEL072-870-9107